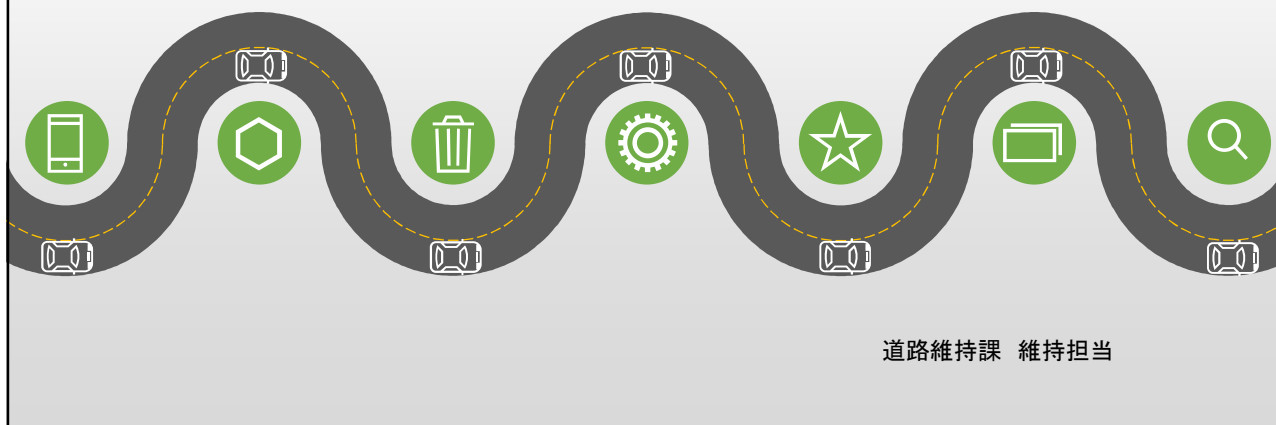


鵜沼新屋敷線・片瀬山通り線 街路樹更新について



今日お話しすること

- ▶ 藤沢市の街路樹管理について
- ▶ 鵜沼新屋敷線・片瀬山通り線の街路樹について
- ▶ 街路樹更新計画と今後のスケジュールについて

藤沢市の街路樹管理について

- ▶ 藤沢市では、令和3年7月に「藤沢市街路樹管理計画」を策定
- ▶ 街路樹が良好に生育できる環境と安全で快適な道路空間を両立させ、持続可能な管理を実現する
- ▶ 本計画では、街路樹のある路線を「景観路線」「再生路線」「その他」に分類し、路線特性に応じた管理に取り組む

藤沢市の街路樹管理について

- ▶ 景観路線・・・鉄道駅に近接する路線や街路樹景観を代表する路線
- ▶ 再生路線・・・植栽から相当年数が経過したことにより、歩道幅員の確保や根上り、見通しの確保等、様々な課題を抱えている路線
- ▶ その他・・・景観路線・再生路線以外の路線

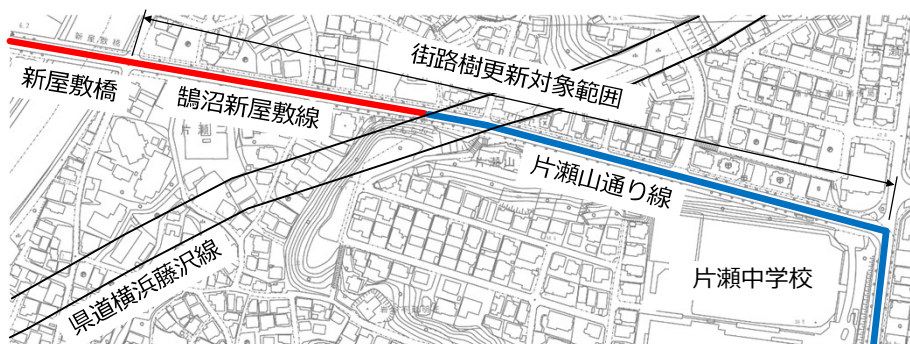
藤沢市の街路樹管理について

- ▶ 景観路線・・・剪定・除草等の管理水準を高める取組を中心に進め、より安全で魅力的な道路空間となるよう適切な管理を行う
また、中期的な視点に基づき、計画的に「改善」「更新」を検討していく
- ▶ 再生路線・・・老木化等による諸課題について、路線レベルで「改善」「更新」「撤去」を検討・推進していく
- ▶ その他・・・現状の維持管理を継続する



各路線特性を踏まえ、メリハリをつけながら取組を進めていく

鵜沼新屋敷線・片瀬山通り線の街路樹について



鵜沼新屋敷線・片瀬山通り線の街路樹について

鵜沼新屋敷線・片瀬山通り線の街路樹は、ユリノキが植栽されていました。

年数を経るごとに、まっすぐ伸び葉を広げるユリノキはまちのシンボルに、そして皆様に親しまれてきました。

しかし、植栽から50年以上が経過し、大径木となったユリノキは、いろいろな問題が生じてきました。

問題とは

- ▶ 老木化により、倒木の危険性が高くなる
- ▶ 大径木化により視認性が悪くなる
- ▶ 歩道の根上がりで路面が凸凹になる
- ▶ 電線に枝葉がかかることで災害等の危険性が増す
- ▶ 落葉が堆積し、沿道家屋や道路排水に影響が出る



ユリノキは

- ▶ 大径木になると倒木する危険性があるため、危険度を樹木医に診断してもらうこととしている。
- ▶ 鵜沼新屋敷線・片瀬山通り線の街路樹についても平成29年度に街路樹診断を実施
- ▶ 道路構造にも影響が出ており、安全な通行が確保できない
- ▶ 地域住民から改善要望を多数受けている



街路樹の更新が必要

街路樹更新計画について

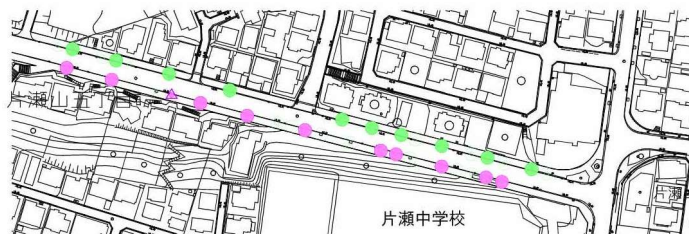
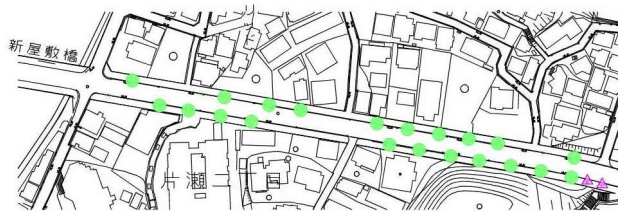
- ▶ 現在、街路樹は約8m間隔で植栽されており、大径木化することで密な状態となっている
- ▶ 取付道路から出る際に、街路樹が支障となつて見通せないことも



- ▶ 植栽間隔を見直し、15m間隔に
- ▶ 植栽しない樹は舗装して通行できるように
- ▶ 根上がり箇所は根を取り除き平坦に
- ▶ 片瀬こどもランド前の低木植栽は、歩道幅員確保のため撤去し舗装する



更新する施工範囲は



● 補植する街路樹

● 現存する街路樹（ユリノキ）

△ 本計画の実施にあたり、撤去したいユリノキ

植栽する樹種は

- ▶ 街路樹管理計画に示した郷土種を基本に選定
適切に管理することで大径木化せず、病害虫や風害に強い樹種

● 常緑樹

モッコク

キンモクセイ

● 落葉樹

イロハモミジ

ヤマボウシ

どんな木？ モッコク

- ▶ 常緑高木
- ▶ 葉が密で白い花・赤い実がなる



どんな木？ キンモクセイ

- ▶ 常緑高木
- ▶ 葉が密でオレンジ色の小花を密生させ香りが楽しめる



どんな木？ イロハモミジ

- ▶ 落葉高木
- ▶ 手のひらのような裂葉で春の新緑と秋の紅葉が美しい



どんな木？ ヤマボウシ

- ▶ 落葉小高木
- ▶ 初夏を代表する花木で、花びらのように白く見える総苞片をつけて花を咲かせる



今後のスケジュール

- ▶ 令和6年 8月 工事発注
- ▶ 10月～ 工事施工
- ▶ 令和7年 4月以降 歩道舗装の補修

令和6年度 切株の抜根と根上がり補修と新たな樹木の植樹

令和7年度 歩道舗装の補修を予定

おわりに

- ▶ 安全・安心なまちづくりにご理解とご協力をお願いします。



ご清聴、ありがとうございました